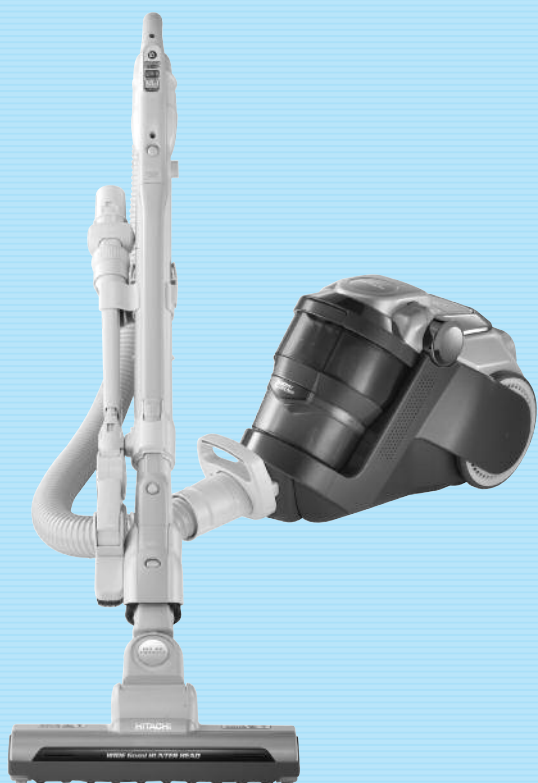
取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

CV-SR3300

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」〈P.4～5〉をお読みいただき、正しくご使用ください。

もくじ

ご使用の前に

使いかた

お掃除が終わったら

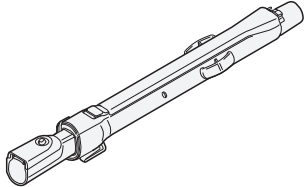
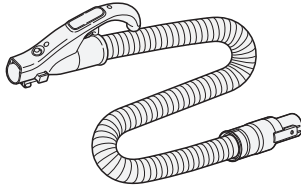
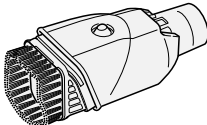
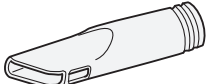
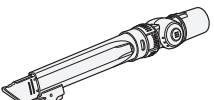
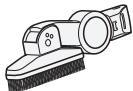
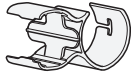
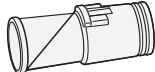
こんなときは

各部のなまえと組み立てかた

スライドつまみ〈P.6〉
フック〈P.14、15〉
パワーモニター〈P.8〉
ボタン
ボタン
クルッとブラシ〈P.12〉
ホーススタンド〈P.21〉
延長管
パワーヘッド〈P.8、11、12、25、26〉

●パワーヘッド、クルッとブラシ、延長管を外すときは、ボタンを押しながら抜いてください。

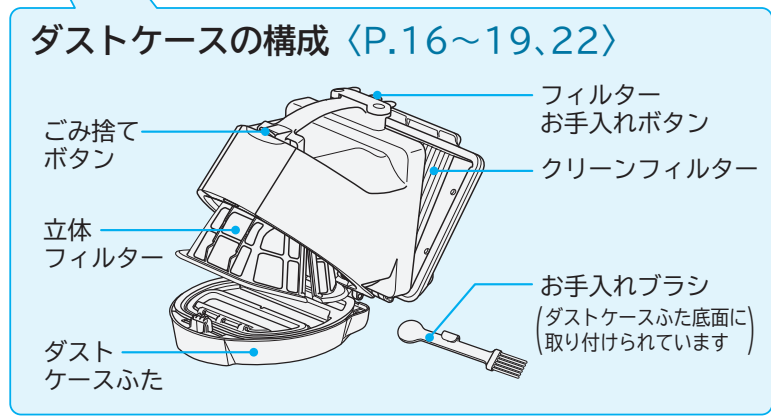
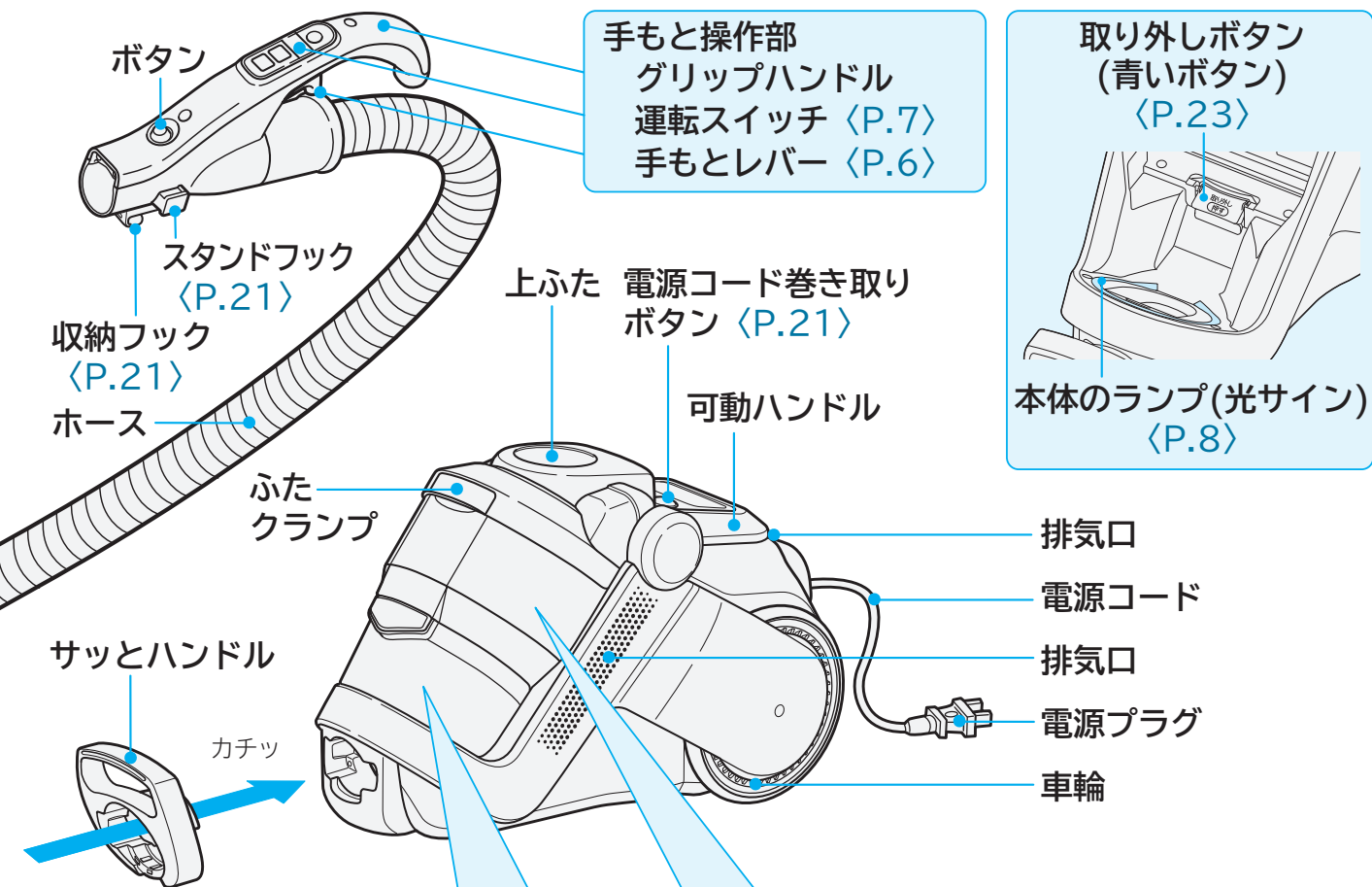
裏側
持ち上げ停止スイッチ
回転ブラシ(ナノチタン回転ブラシ)

本体つぎて

標準付属品

パワーヘッド（1個）(ワイドごみハンターヘッド)	延長管（1本）(サッとズームパイプ)	ホース（1本）

付属応用部品

サッとハンドル（1個）	お手入れブラシ（1個）(ダストケースふた底面に取り付けられています)	クルッとブラシ（1個）〈P.12〉	すき間吸口（1個）〈P.15〉

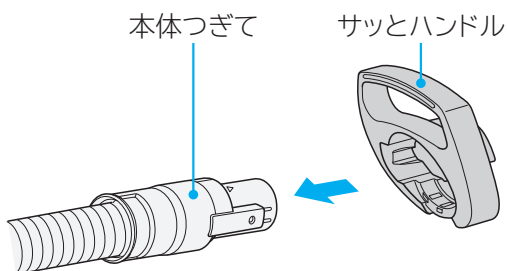
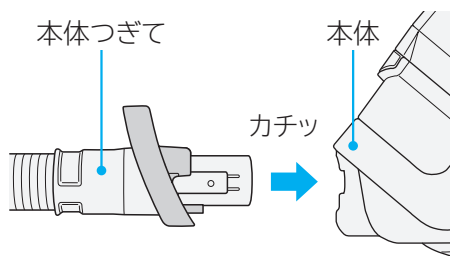
ワイド曲がるロング吸口〈P.13、14〉		吸口ホルダー（1個）〈P.14〉	別売り部品接続用アタッチメント（1個）〈P.15〉	ティッシュペーパー（1枚）〈P.19〉(ダストケースに取り付けられています)
曲がるロング吸口(D-SH6)（1個）	ワイドブラシ(SH6)（1個）			

サッとハンドルの取り付けかた

●階段など狭い場所で本体を持ち運ぶときは、サッとハンドルを使うと便利です。

1 サッとハンドルを本体つぎてに取り付ける

本体つぎて　サッとハンドル

2 本体つぎてを本体に差し込む

本体つぎて　本体　カチッ

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

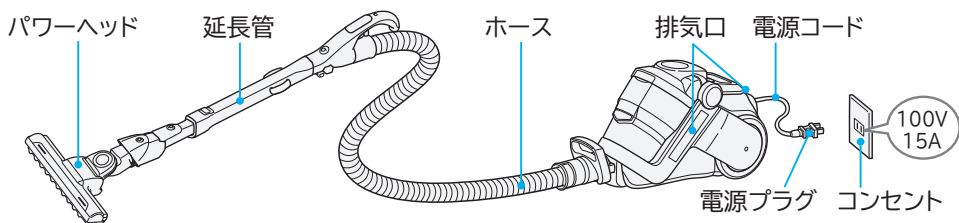
■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」内容のものです。

必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

・スイッチを押しても、運転しない
・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
・運転中、時々止まる
・運転中、異常な音がする
・本体が変形したり、異常に熱い
・ホースが破れている
・こげくさい"におい"がする
・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源(コンセント・プラグ・コード)

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグは根元まで確実に差し込む
●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

●電源コードを傷つけない
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
●傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●電源コードを回転ブラシに巻き込まない
●ぬれた手で抜き差ししない

火災・感電の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)

●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。

そのほか

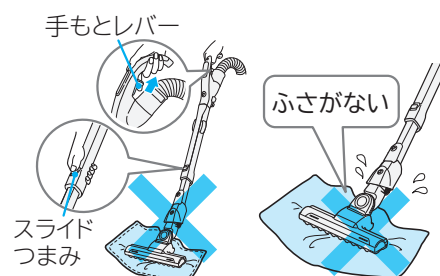
●引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
●押しピン、針、つまようじ、じゅうたん洗浄剤などの泡のようなものを吸わせない
●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
●水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
爆発・火災・感電・けがの原因となります。

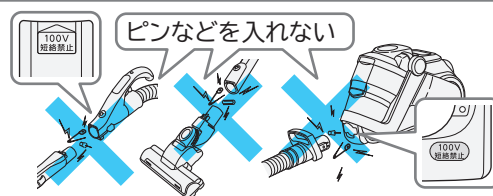
⚠注意

電源(コンセント・プラグ・コード)

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。

パワーヘッド(吸込口)

●運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。
●ほかの製品に取り付けて使わない
過熱によるパワーヘッドの変形・発火の原因となります。

ホース・延長管

●ホースや延長管の先端で掃除をしたり、ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。

排気口

●排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
●排気口から出る風を、長時間身体に当てない
低温やけどをすることがあります。

そのほか

●火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。

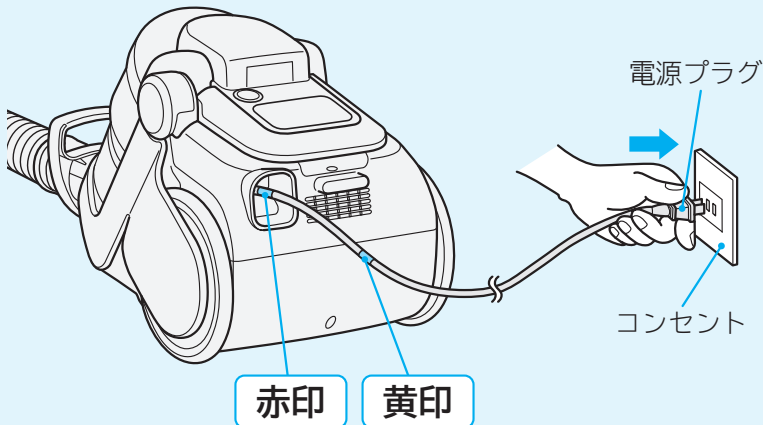
使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。
●ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。
●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。
●本体に乗らない
故障の原因となります。
●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス
●水洗いした部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

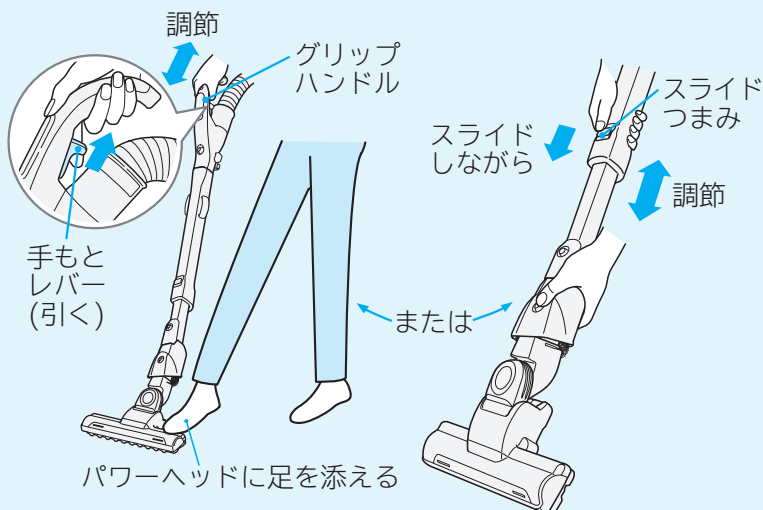
1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグをコンセントに差し込むと、メロディーが鳴り、自動スパイラル除じん機構が作動します。〈P.9〉
●本体にホースが差し込まれていないと、自動スパイラル除じん機構は作動しません。

⚠警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

お願い
●電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

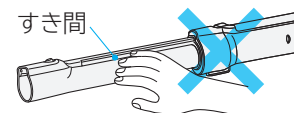
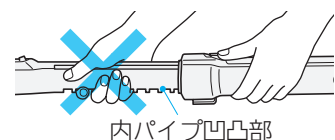
2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる

お願い
●手もとレバーを使って延長管を伸ばすときは、確実にレバーを引いてください。
パワーヘッドが外れることがあります。

⚠警告

けがのおそれあり
●運転中はパワーヘッドに足を添えないでください。巻き込まれるおそれがあります。

⚠注意

けがのおそれあり
●運転中に吸込口をふさいで手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。延長管が急に縮むことがあります。
●延長管のすき間に手などを入れないでください。

●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。
手を挟むことがあります。

お好みで運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

強 じゅうたんの念入りなお掃除に

中 ふつうのお掃除に

弱 ゆか、たたみなどのお掃除に静かにお掃除したいときに

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転速度が切り替わります。

自動で運転したいとき

「eco これっきりボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。
また、パワーヘッドの操作停止を感知すると、自動で待機運転に切り替えます。〈P.10〉

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転速度も切り替わります。

お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り替えます。

- ●ゆか面の凹凸や傷み
- ●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合
- ●パワーヘッドの操作速度および方向転換
- ●パワーヘッドの操作停止

このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

手もと操作部

長押し-除じん
パワーブラシ
切/入
強/中/弱
eco
これっきりボタン
切

回転ブラシ(パワーブラシ)の回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り替わります。

本体の運転が止まっているときに、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、掃除機は運転しません。また、回転ブラシも回転しません。
「eco これっきりボタン」で運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

お好みで除じんしたいとき

本体の運転が止まった状態で、「パワーブラシ切/入」スイッチを長押し(3秒以上)すると、除じんします。〈P.9〉

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。
本体の運転を止めると、メロディーが鳴り、自動スパイラル除じん機構が作動します。(自動スパイラル除じん機構「入」設定時 〈P.9〉)

自動スパイラル除じん機構「切/入」を切り替えたいとき

本体の運転が止まった状態で、「切」スイッチを長押し(5秒以上)すると、除じんしないように設定できます。元に戻す場合は、もう一度「切」スイッチを長押し(5秒以上)してください。〈P.9〉

⚠注意

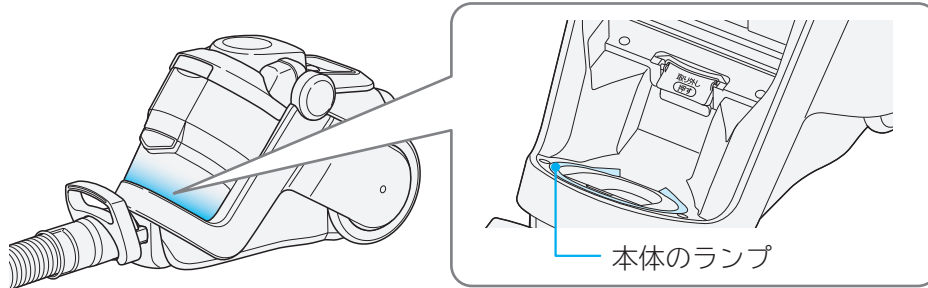
けがのおそれあり

●吸込口をふさいで、「強/中/弱」スイッチや「eco これっきりボタン」を押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

お知らせ ●上ふたが開いているときは、本体は運転しません。

運転時の機能について

●運転状態のお知らせや、お手入れ、自動運転などの機能で便利にご使用いただけます。

本体のランプ(光サイン)

	点灯	「eco これっきりボタン」による自動運転のお知らせです。〈P.10〉
	点滅	待機運転・自動停止(アイドリング&ストップ)のお知らせです。〈P.10〉
	点滅	フィルターお手入れ〈P.22～24〉のお知らせ(目安)です。 赤点滅した状態で「切」スイッチを押して本体の運転を止めると、ブザー音が鳴り、本体のランプが赤点滅します。※

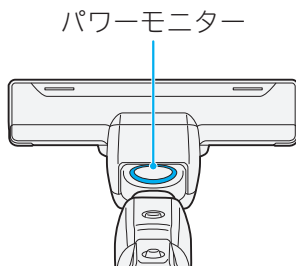
※「弱」運転や待機運転のときは、本体のランプは赤点滅しません。
　また、ブザー音も鳴りません。

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
　少量のごみでも「本体のランプ」が赤点滅することがあります。
　このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。〈P.17、18、22～24〉

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、ワイド曲がるロング吸口などをご使用のとき
　吸込風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が赤点滅することがありますが、「本体のランプ」の赤点滅が消灯すれば、そのままご使用いただけます。

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
　電源電圧の低下により、早期に「本体のランプ」が赤点滅することがあります。
　定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。

パワーモニター

●パワーモニターの色で、本体の運転状態や回転ブラシの回転速度をお知らせします。

パワーモニターの色	赤	だいだい	緑
本体の運転状態	強	中	弱/待機運転 ※
回転ブラシの回転速度	速い	←→	遅い

※待機運転になるのは、「eco これっきりボタン」による自動運転中のみです。

「eco これっきりボタン」で自動運転しているときは、運転状態に合わせてパワーモニターの色が3段階に変わります。

メロディー(ブザー音)

●本体の状態をメロディーとブザー音でお知らせします。

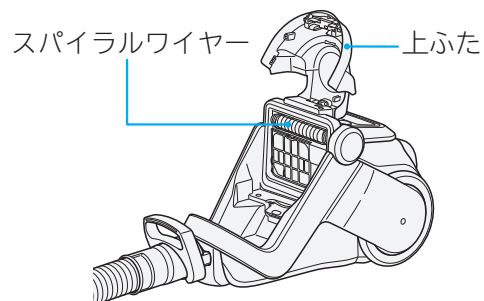
メロディー(ブザー音)	本体の状態
「ピロロン」	●自動スパイラル除じん機構が作動するとき ●自動スパイラル除じん機構を「入」設定に切り替えたとき
「ピーピーピー」	●本体のランプが赤点滅した〈P.8〉状態で「切」スイッチを押して、本体の運転を止めたとき※
「ピピピ・・・」	●上ふたが開いた状態で、 1 電源プラグをコンセントに差し込んだとき 2 「強/中/弱」スイッチ、または「eco これっきりボタン」を押したとき
「ピー」	●自動スパイラル除じん機構を「切」設定に切り替えたとき

※自動スパイラル除じん機構「入」設定の場合のみ、メロディーが鳴り、自動スパイラル除じん機構が作動したあと、「ピーピーピー」と鳴ります。

自動スパイラル除じん機構

●除じん専用モーターにより、「スパイラルワイヤー」がクリーンフィルターを強力に振動させ、付着したチリを落とします。クリーンフィルターの目詰まりが抑えられるので、吸引力が持続します。
除じん中は、カタカタ音がしますが異常ではありません。

自動スパイラル除じん機構の作動

次のとき、自動スパイラル除じん機構が作動します。
・電源プラグをコンセントに差し込んだとき
・「切」スイッチを押して、本体の運転を止めたとき※
※自動停止〈P.10〉中は、「切」スイッチを押しても自動スパイラル除じん機構は作動しません。

●そのほか、次のような操作ができます。

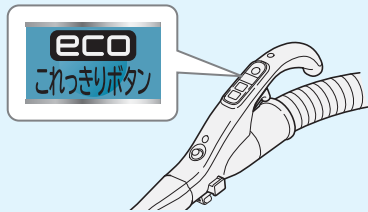
お好み除じん	本体の運転が止まった状態で「パワーブラシ切/入」スイッチを長押し(3秒以上)する（メロディーは鳴りません） ●自動スパイラル除じん機構「切」に設定の場合も、お好みで除じんできます。
除じん停止	・除じん中に「切」スイッチを押す ・除じん中に「強/中/弱」スイッチ、または「eco これっきりボタン」を押す(本体が運転します)
自動スパイラル除じん機構「切／入」設定の切り替え	本体の運転が止まった状態で「切」スイッチを長押し(5秒以上)する ・「入」→「切」：ブザー音「ピー」 ・「切」→「入」：メロディー「ピロロン」 ●工場出荷時は、自動スパイラル除じん機構「入」に設定されています。

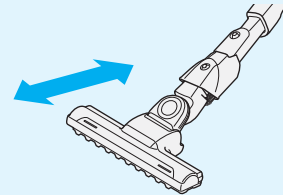
●自動スパイラル除じん機構を「切」設定にすると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなるため、お好みで除じんするか、こまめにクリーンフィルターのお手入れ〈P.22〉をしてください。
●上ふたが開いているときは、安全のために除じんしません。
除じん中に上ふたを開けた場合〈P.16〉は、除じんが止まります。
●本体にホースが差し込まれていない場合、電源プラグをコンセントに差し込んでも、除じんはしません。
(メロディーは鳴ります)

運転時の機能について(続き)

「eco これっきりボタン」による自動運転

●センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転や消費電力を抑えた運転(アイドリング＆ストップ)に切り替えます。

1 「eco これっきりボタン」を押す

2 パワーヘッドを前後に動かす

ゆか面に適した自動運転を開始します。

●「eco これっきりボタン」による自動運転を始めると、本体のランプが緑に点灯してお知らせします。〈P.8〉

待機運転・自動停止(アイドリング＆ストップ)について

●センサーがパワーヘッドの操作停止を感知して、自動で待機運転に切り替えます。
●パワーヘッドを前後に動かすと、ゆか面に適した自動運転を再開します。
●待機運転が約40秒続いた場合、本体の運転を自動停止します。

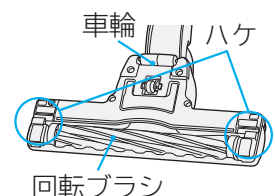
	待機運転(アイドリング)	自動停止(ストップ)
本体の運転状態	微弱	停止
本体のランプの色	緑点滅	緑点滅(約10分後に消灯します)※
パワーモニターの色	緑	消灯
運転を再開するとき	・パワーヘッドを前後に動かす ゆか面に適した自動運転を再開します。	・「eco これっきりボタン」を押す ゆか面に適した自動運転を再開します。 ・「強/中/弱」スイッチを押す 「強」運転を開始します。

※緑点滅中に「切」スイッチを押す、または上ふたを開けると、本体のランプが消灯します。

こんなときは

●パワーヘッドをゆか面から浮かせているときは、パワーヘッドを浮かせる前の運転状態を保ちます。
ただし、待機運転中は「弱」運転に切り替わります。
●「eco これっきりボタン」で自動運転中に、パワーヘッドを取り外したときは、パワーヘッドを取り外す前の運転状態を保ちます。
ただし、待機運転中は「弱」運転に切り替わります。
●パワーヘッドを取り外した状態で、「eco これっきりボタン」を押して運転を開始したときは、「強」運転を保ちます。
●「eco これっきりボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。
●「パワーブラシ切/入」スイッチを押して回転ブラシの回転を止めた状態で、「eco これっきりボタン」を押して運転を開始したときは、回転ブラシが回転します。
●本体のランプが赤点滅しているとき〈P.8〉は、待機運転に切り替わりません。

お願い

●ゆか面の種類や、パワーヘッドの操作のしかたによって、待機運転になりやすい場合があります。
その場合は、お好みで運転してください。〈P.7〉
●パワーヘッドの車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします)〈P.30､31〉

お掃除のしかた

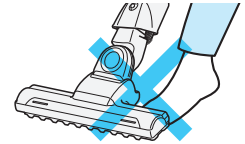
パワーヘッド

●ゆか面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

⚠警告

けがのおそれあり

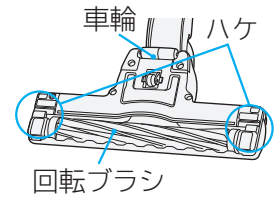
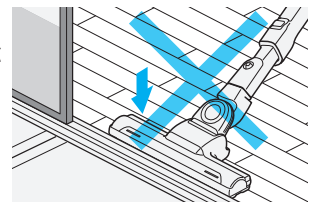
●パワーヘッドを引くときに、身体の一部(足の上など)に乗り上げないようにご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。

⚠注意

ゆか面に傷を付けるおそれあり

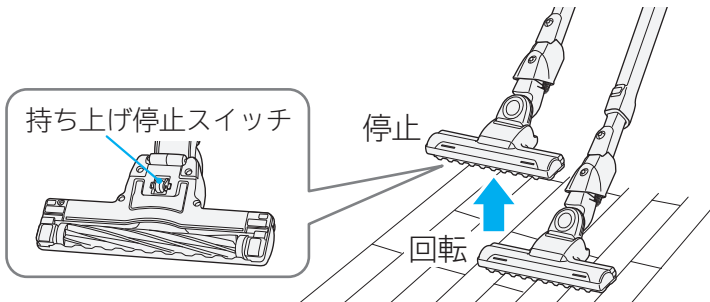
●特にひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。また、パワーヘッドをゆか面に強く押しつけないでください。

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。定期的にお手入れしてください。〈P.25〉

●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします)〈P.30、31〉

※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。

お願い ●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このようなときは、「弱」運転に切り替えてください。

パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて、回転ブラシの回転が止まります。

●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは〈P.25〉

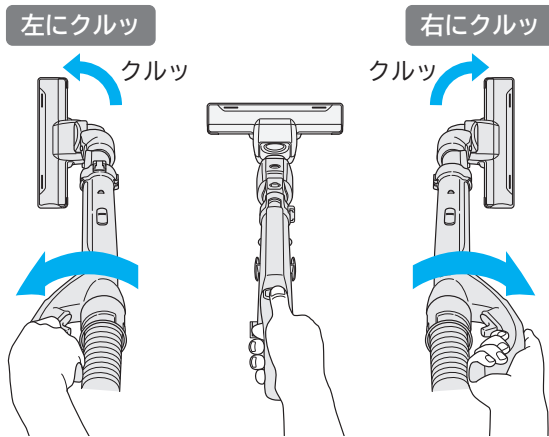
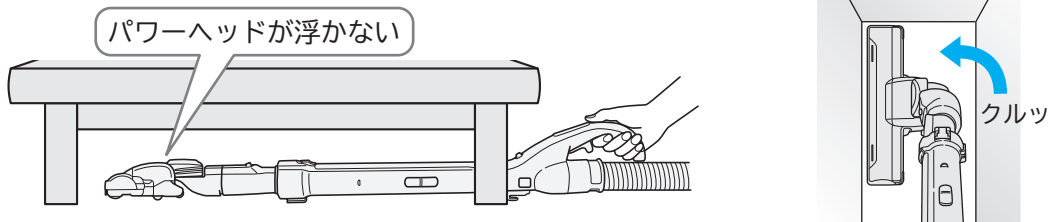
⚠警告

けがのおそれあり

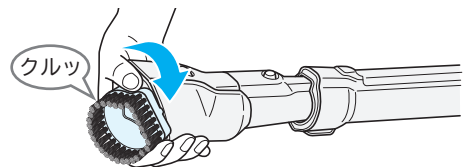
●パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

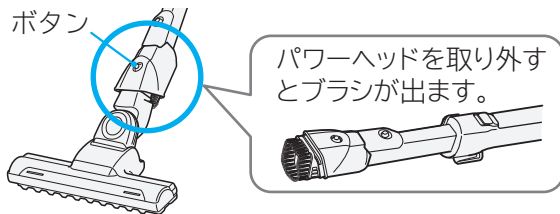
お掃除のしかた(続き)

クルッとヘッド・ペタリンコ構造

●グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。

●ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。
　また、パワーヘッドをクルッと回してすき間もスムーズにお掃除できます。

クルッとブラシ

●パワーヘッド(または延長管)を外すとブラシが出ます。
　ブラシを回して角度が変えられる吸口です。
　パワーヘッド(または延長管)を元どおり取り付けると、
　ブラシが収納されます。

●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。

延長管に取り付けて使用する

クルッとブラシのボタンを押してパワーヘッドを取り外す

手もと操作部に取り付けて使用する

クルッとブラシのボタンを押して延長管を取り外す

※手もと操作部に取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。〈P.21〉

使用中にブラシが外れた場合(ブラシの取り付けかた)

1 ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる

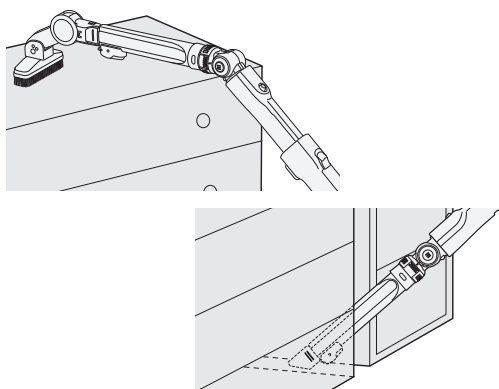
2 ブラシを押しつけながら、回転させる

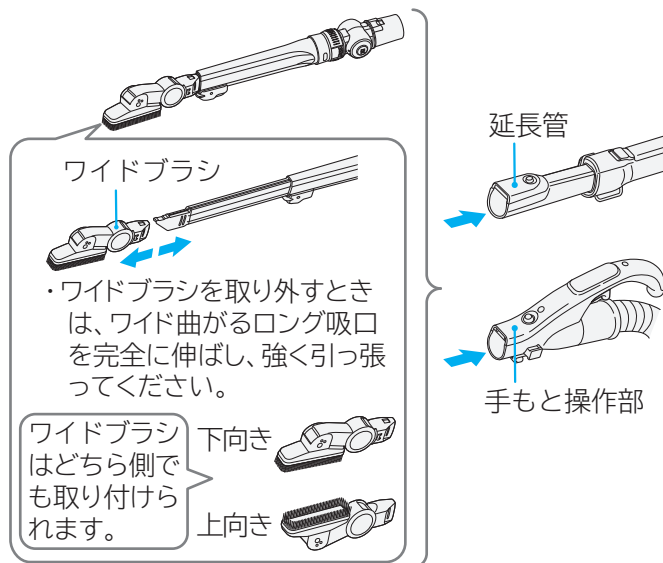
⚠注意

傷を付けるおそれあり

●ピアノなど特に傷つきやすい場所にはブラシを押しつけないでください。

ワイド曲がるロング吸口(D-SH6)

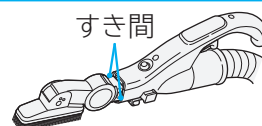
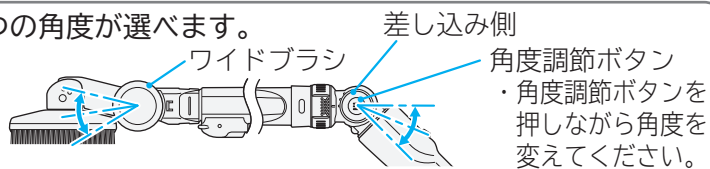
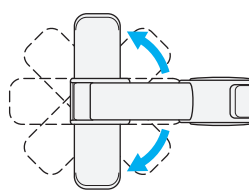
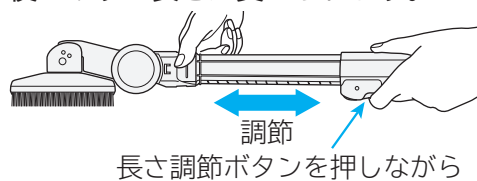
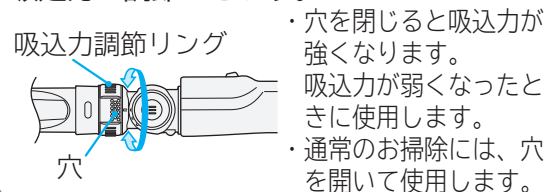
●家具の上やすき間の奥まで届く、先が細い伸縮自在の吸口です。

●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。

⚠注意

傷を付けるおそれあり

●ピアノなど特に傷つきやすい場所には押しつけないでください。

●ワイドブラシのみを延長管または手もと操作部に取り付けることもできます。

お願い

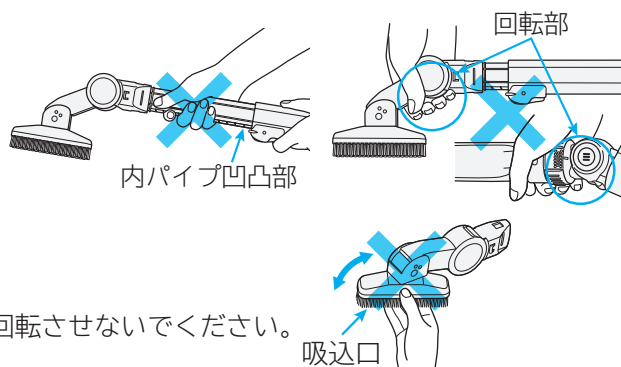
●ワイドブラシのみを延長管または手もと操作部に取り付けてご使用の際に、すき間(2か所)とワイドブラシにごみが詰まった場合は、ごみを取り除いてご使用ください。

●お掃除する場所に合わせ、様々な角度や長さに変えられます。

⚠注意

けがのおそれあり

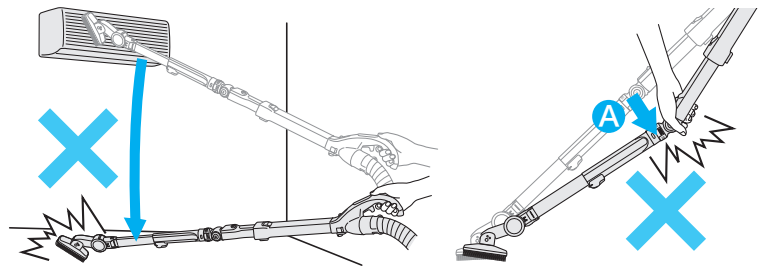
●運転中に長さ調節ボタンを押さないでください。ワイド曲がるロング吸口が急に縮むことがあります。

●ワイド曲がるロング吸口を縮めるときは、内パイプの凹凸部を持たないでください。手を挟むことがあります。

●角度を変えるときは、回転部を持たないでください。手を挟むことがあります。

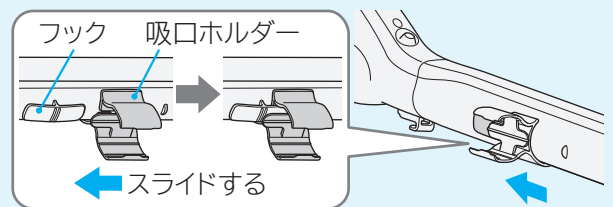
●ワイドブラシの吸込口に指を入れたまま回転させないでください。指を挟むことがあります。

お掃除のしかた(続き)

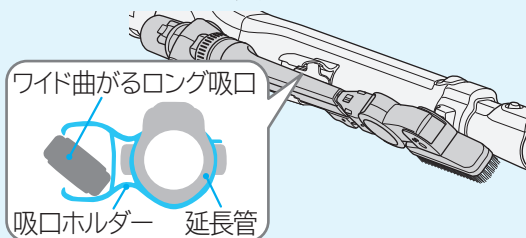
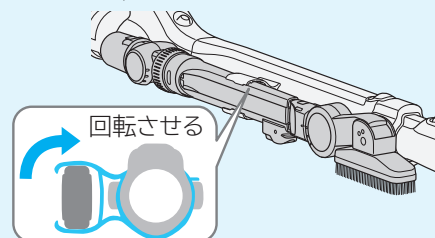
お願い

- ●ワイド曲がるロング吸口やワイドブラシを使用するときは、高所から落下させたり、Ⓐの矢印の方向に無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- ●ワイド曲がるロング吸口の長さを変えるときは、長さ調節ボタンを押しながら伸縮させてください。無理に引っ張るなどすると、破損するおそれがあります。
- ●ワイド曲がるロング吸口の差し込み側の角度を変えるときは、角度調節ボタンを押しながら角度を変えてください。無理に曲げると、破損するおそれがあります。
- ●ワイド曲がるロング吸口は水洗いができます。水洗い後は、十分に自然乾燥させてからご使用ください。水を吸い込むと、故障するおそれがあります。
- ●ワイドブラシの先端や内側に綿などのごみが詰まっている場合は、吸込力が低下しますので、ごみを取り除いてください。
- ●クルッとブラシにワイド曲がるロング吸口またはワイドブラシを取り付けないでください。十分な吸込力が得られません。
- ●吸込力調節リングで穴を閉じてご使用の際に、カーテンや薄いカーペットなどが吸いついて、ワイド曲がるロング吸口を動かしにくい場合があります。その場合は、穴を開いてご使用ください。

付属の吸口ホルダーを延長管に取り付けて、収納することができます。

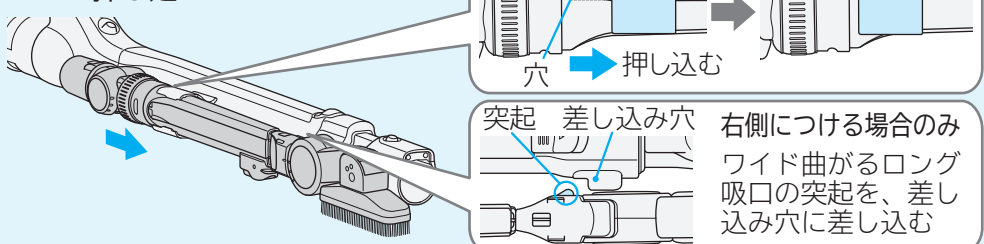
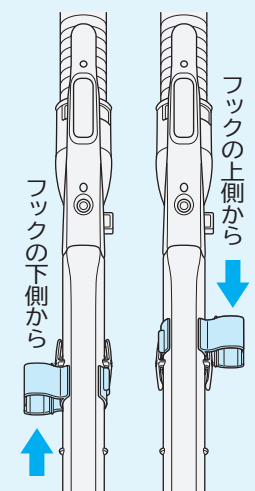
1 吸口ホルダーを延長管に固定する

1 吸口ホルダーの切り込みをフックの方に向けて、延長管のうしろ側からフックの近くにはめ込む

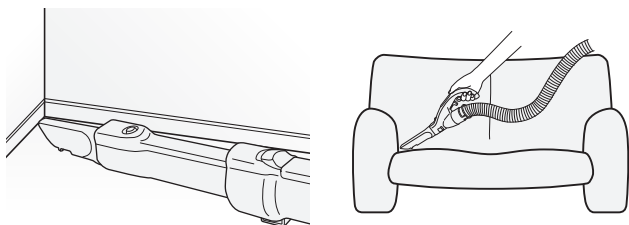
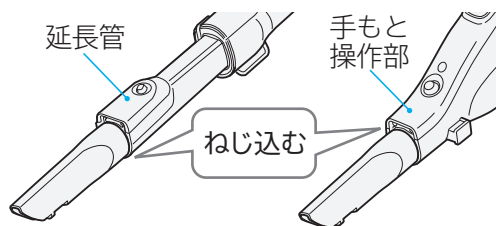
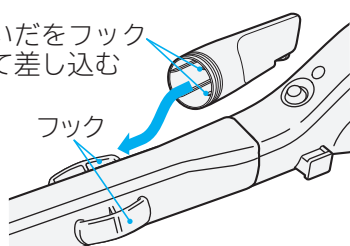
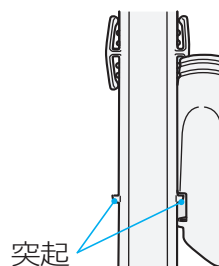
2 吸口ホルダーをスライドさせて、フックに差し込み、止まるまで押し込む

2 ワイド曲がるロング吸口を吸口ホルダーに取り付ける

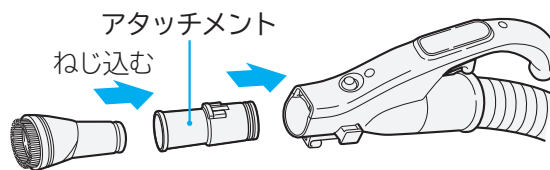
1 ワイド曲がるロング吸口を吸口ホルダーに入れる

2 矢印の方向に回転させてはめ込む

3 ワイド曲がるロング吸口の穴をストッパーに合わせて押し込む

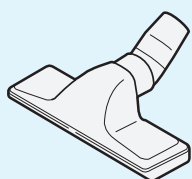
右側につける場合のみ

ワイド曲がるロング吸口の突起を、差し込み穴に差し込む

吸口ホルダーは、左右どちら側にも取り付けられます。

すき間用吸口

●狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

お部屋の隅のお掃除に　ソファーの隅などのお掃除に

●延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。

●左右いずれかのフックに差し込んで収納します。

●下側に取り付けるときは、図の向きに付けると落ちにくくなります。

あると便利な別売り吸口

●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、
別売りの吸口が使えます。〈P.31〉
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に
取り付けてご使用ください。

ふとん用吸口(G-52)

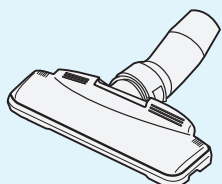
ふとんを傷めず、ダニ・ほこり・
糸くずなどを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラ
インド、家具などをお掃除する
吸口です。ブラシ部分は水洗い
ができます。

棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上な
どをお掃除する吸口です。
水洗いができます。

丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

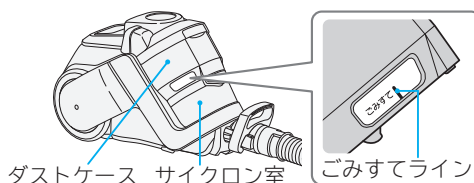
フローリング、たたみに適した大きめの拭き専用
ブラシ付きの吸口です。
(「中」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

クルッと切替えブラシ吸口

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。
お掃除する場所に合わせて、
先端の切替えブラシを装着
できます。

別売り部品接続用
アタッチメントは
必要ありません。

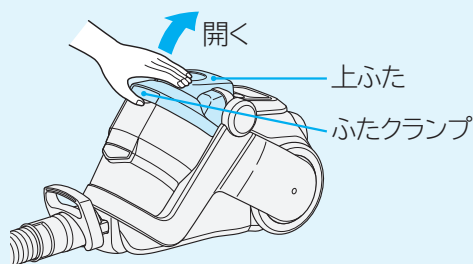
ごみの捨てかた

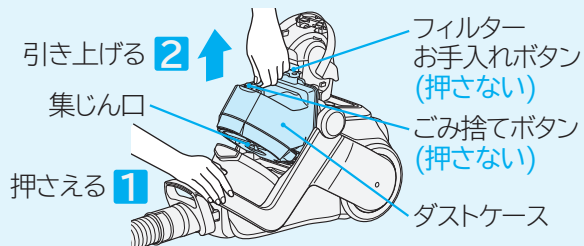
●サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

●ダストケースのごみは、「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。
●お掃除が終わったら、ダストケースを取り出し、「ごみすてライン」を確認してください。

感電・けがのおそれあり
●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。
屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

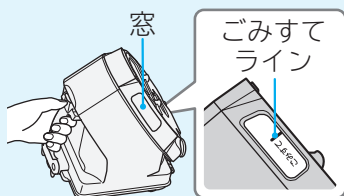
ダストケースの取り出しかた

1 ふたクランプを外し、上ふたを開ける

2 ダストケースを取り出す

1 本体の前側を手で押さえる　2 上に引き上げる

お願い ●ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押さないでください。ごみがこぼれる場合があります。本体内・サイクロン室にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。
●ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないでください。
ごみがこぼれる場合があります。

ごみすてラインの確認のしかた

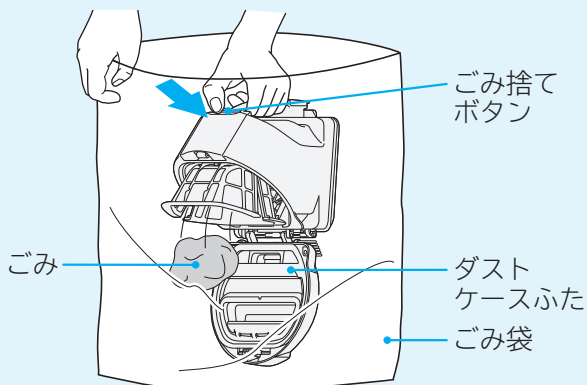
お願い ●「ごみすてライン」を超えてごみを吸い込んだ場合、サイクロン室側にごみがこぼれます。
強い吸引力でお掃除していただくためにも、こまめなごみ捨てをおすすめします。

ダストケースの窓から、ごみが「ごみすてライン」を超えていないか確認する

●ダストケースのごみ捨ての際は、1「立体フィルター」と2「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。〈P.17、18〉
●「ごみすてライン」を超えてごみを吸い込んだ場合、サイクロン室側にこぼれたごみを取り除いてください。
●サイクロン室にごみが詰まった場合は、サイクロン室を取り外してお手入れしてください。〈P.23〉

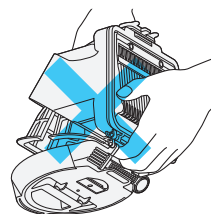
ダストケースのごみの捨てかた

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

1 ごみを捨てる

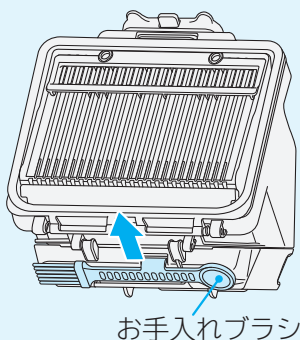
ダストケースを大きめのごみ袋などに入れ、ダストケースふたを下に向けてごみ捨てボタンを押す

⚠警告

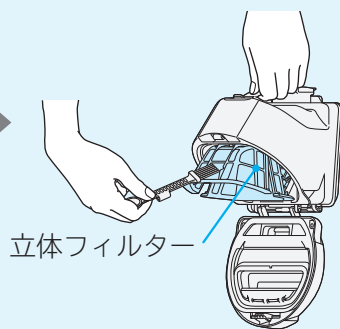
けがのおそれあり

●ごみを捨てるときは、ダストケース下部を持たないでください。
手を挟むおそれがあります。

お願い

●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

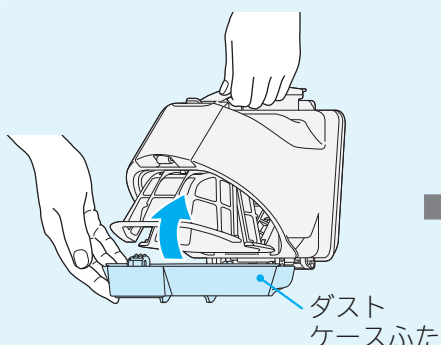
2 付着したごみを取り除く

1 ダストケースふた底面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す

2 立体フィルターの目詰まりを取り除く

⚠注意

けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。けがをしないよう注意して取り除いてください。

●立体フィルターは取り外してお手入れできます。〈P.22〉

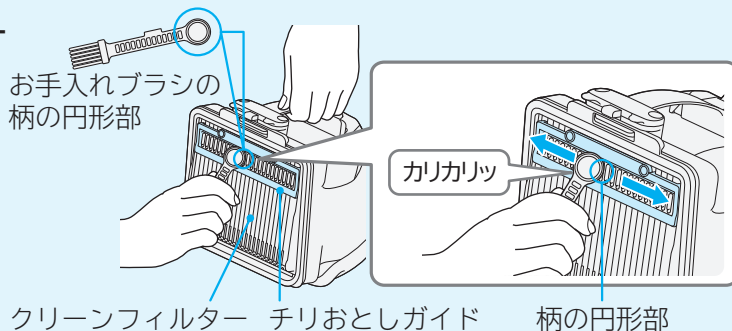
3 ダストケースふたを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める

ごみの捨てかた(続き)

2「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

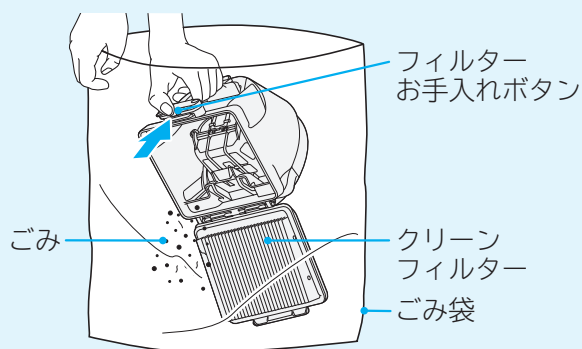
1 クリーンフィルターのチリを落とす

お手入れブラシの柄の円形部を、クリーンフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

●これによりクリーンフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。

お願い ●柄の円形部を強く押し当てすぎるとクリーンフィルターが破れることがあります。軽く押し当ててください。

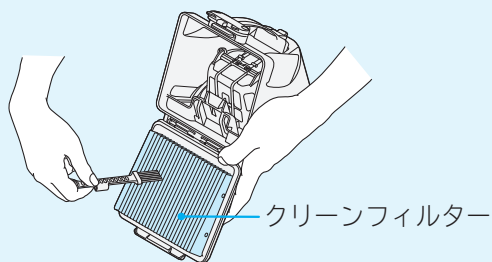
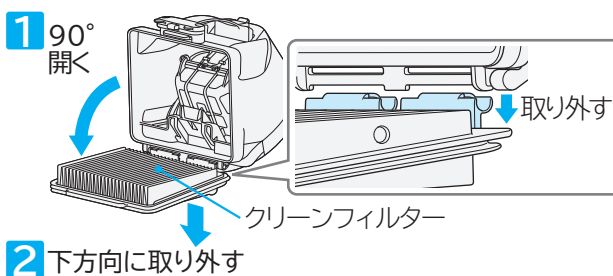
2 ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋などに入れ、クリーンフィルターを下に向けてフィルターお手入れボタンを押す

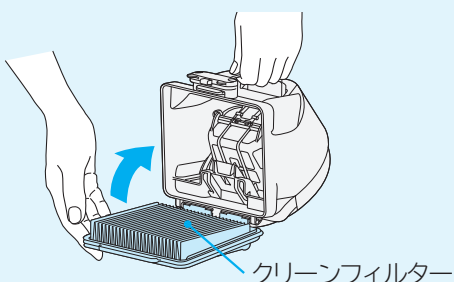
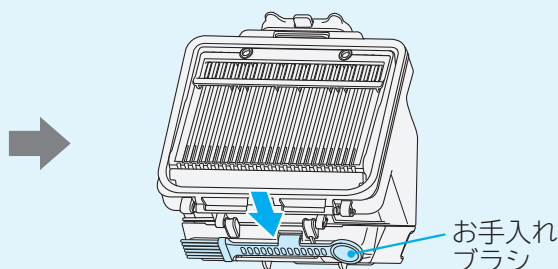
●クリーンフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

3 付着したごみを取り除く

クリーンフィルターの奥にたまったごみをお手入れブラシで取り除く

●取り外してお手入れすることもできます。

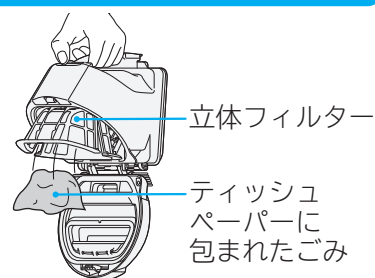
2 下方向に取り外す

●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

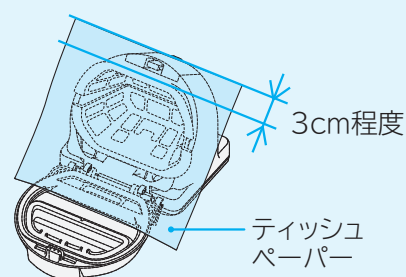
1 「カチッ」と音がするまで閉める

2 ダストケースふた底面にお手入れブラシを取り付ける

ティッシュペーパーの取り付けかた

●ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。

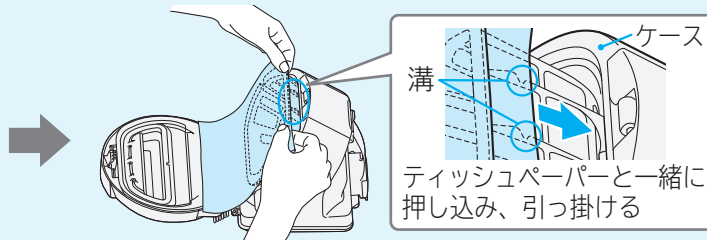
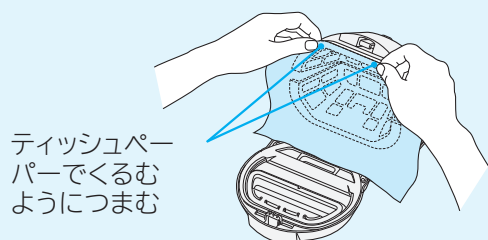
●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが異常ではありません。

●ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。

お願い ●ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度以上で2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
●立体フィルターにごみが付着している場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

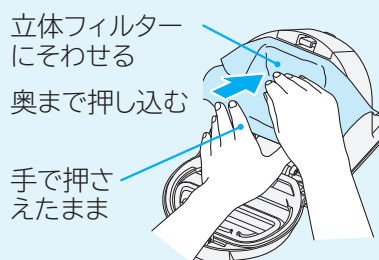
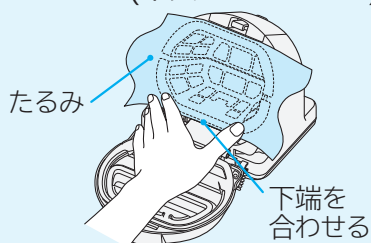
1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

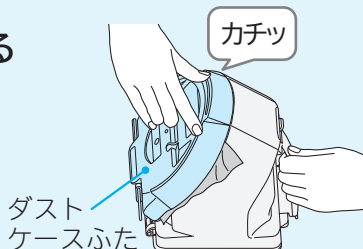
ティッシュペーパーの端を、立体フィルターの上端から3cm程度はみ出すようにのせる

2 ティッシュペーパーの上端を立体フィルターに固定する

1 立体フィルターの上端をティッシュペーパーと一緒につまむ

2 立体フィルターを押し込み、溝をケースのふちに引っ掛ける

3 ティッシュペーパーを立体フィルターの内側にそわせる

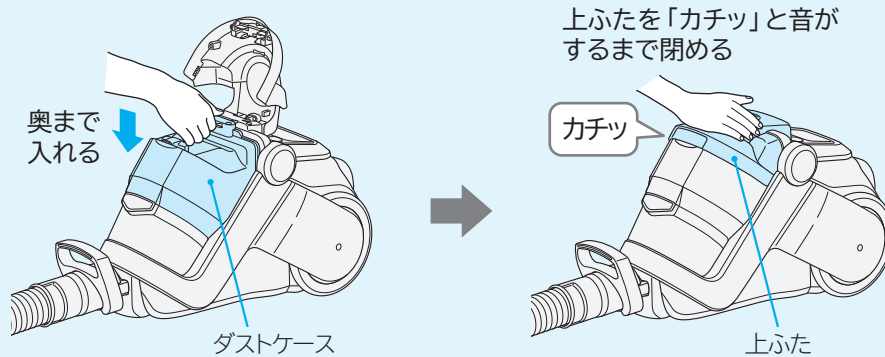
1 ティッシュペーパーの下端を立体フィルターの下端に合わせる(中央をたるませる)

2 ティッシュペーパーを立体フィルターの奥まで押し込む

●ティッシュペーパーを強く押し込むと、立体フィルターの溝がダストケースのふちから外れる場合があります。ティッシュペーパーはそっと押し込んでください。

4 ダストケースふたを閉める

●ティッシュペーパーがダストケースからはみ出していても問題ありません。
●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が5W程度下がります。

ごみの捨てかた(続き)

ダストケースの取り付けかた

ダストケースを奥まで入れて、上ふたを閉める

お願い

- ダストケースを取り付けない状態での運転を防ぐため、ダストケースが奥まで入っていない状態では上ふたが閉まりません。
- ダストケースが奥まで入っていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたが破損するおそれがあります。また、その状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。ダストケースはしっかり奥まで入れてください。

あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

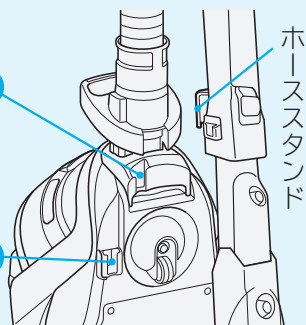
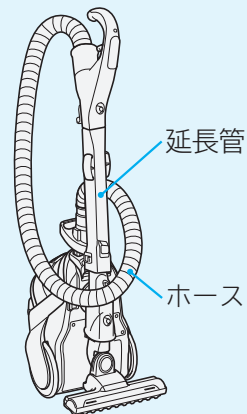
電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部( )を押しながら、電源コードを巻き取ってください。

⚠注意
けがをする・家具に傷を付けるおそれあり
●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

収納のしかた

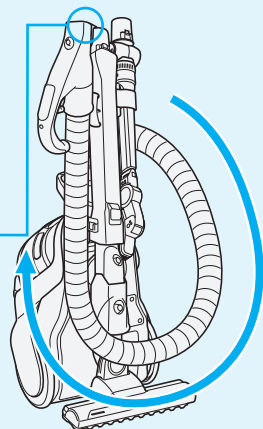
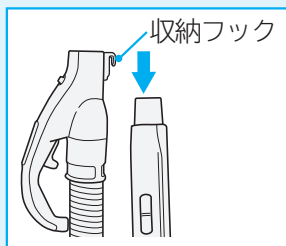
1 延長管を縮めて〈P.6〉、取り付け溝にホーススタンドを差し込む

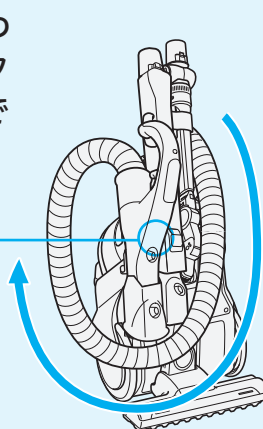
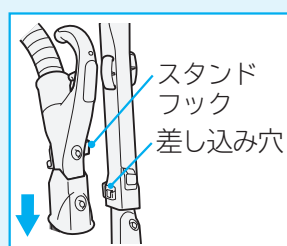
クルッとブラシをパワーヘッド側に取り付けているとき A <P.12>
Aの取り付け溝に

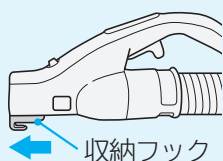
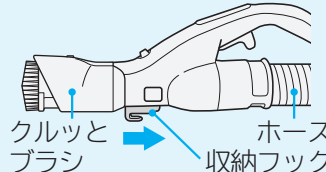
クルッとブラシを手もと操作部側に取り付けているとき B <P.12>
Bの取り付け溝に

2 ホースを延長管に巻きつける

さらにコンパクトに収納したいとき

●手もと操作部を延長管から外してください。〈P.2、3〉

サッと収納

ホースを延長管に巻きつけて、延長管に収納フックを引っ掛けてください。

コンパクト収納

ホースを延長管に巻きつけて、差し込み穴にスタンドフックを差し込んでください。

収納フック

・サッと収納のときは、収納フックを手もと操作部の先端側へ移動してご使用ください。

・クルッとブラシを取り付けるときは、収納フックをホース側に移動してください。

⚠注意
けがのおそれあり
●収納状態のままで持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。

●ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。
ホースの変形や故障の原因となります。
●ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

「本体のランプが赤点滅した」、「吸込力が弱くなった」とき

- ダストケース・サイクロン室・各フィルターをお手入れしてください。
- 強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

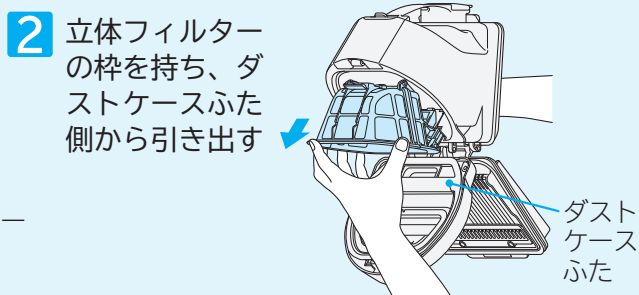
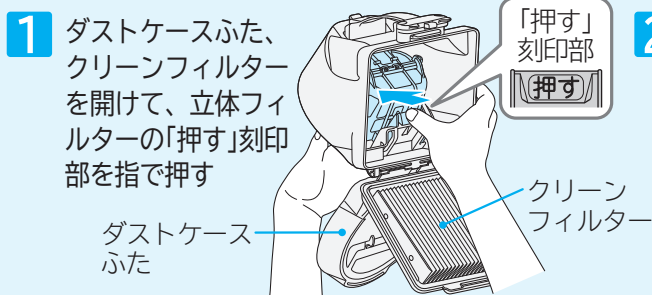
- 各フィルターを水洗いしたときは、十分に自然乾燥させてください。
  クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

お願い ●お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。
屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

ダストケース

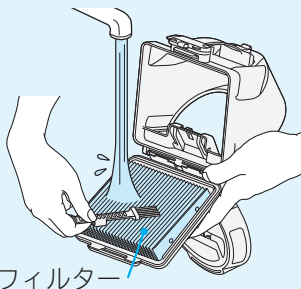
1 立体フィルターを取り外す

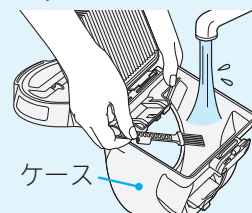
1 ダストケースふた、クリーンフィルターを開けて、立体フィルターの「押す」刻印部を指で押す

2 立体フィルターの枠を持ち、ダストケースふた側から引き出す

⚠注意

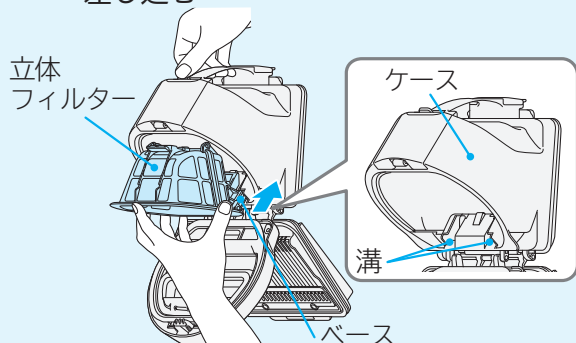
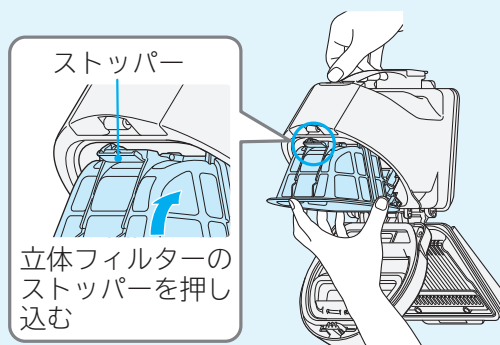
けがのおそれあり
- 分解するときは、「押す」刻印部を押してください。
- ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
  けがをしないよう注意して取り除いてください。

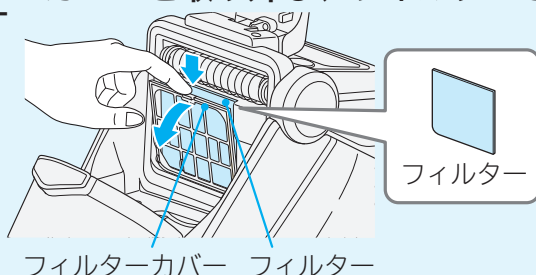
2 ダストケースを水洗いする

- クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを水で流してください。
- 取り外してお手入れすることもできます。〈P.18〉

- 立体フィルターを水洗いする

- ケースを水洗いする

お願い ●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。

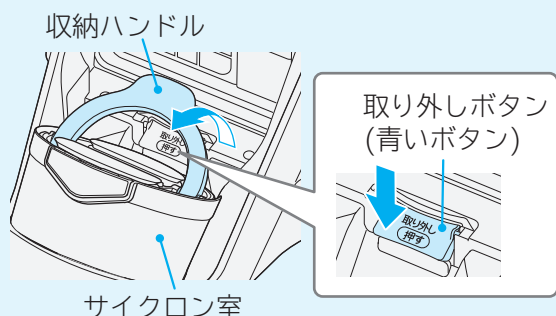
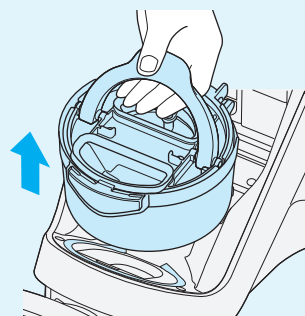
3 立体フィルターを取り付ける

1 立体フィルターのベースをケースの溝に差し込む

2 立体フィルターを元どおり取り付ける

フィルター(アレルオフフィルター)

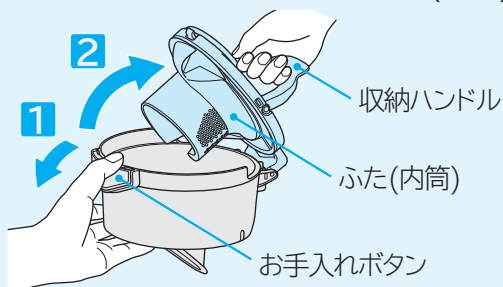
1 フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り出す

2 水で軽く押し洗いする

●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。

サイクロン室

1 取り外しボタン(青いボタン)を押して収納ハンドルを立ち上げる

2 サイクロン室を取り外す

3 サイクロン室のふた(内筒)を開ける

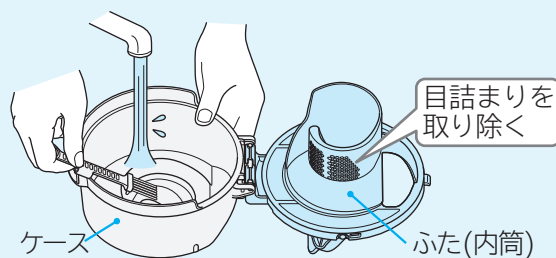
1 お手入れボタンを矢印方向に引く

2 収納ハンドルを持ってふた(内筒)を開ける

お願い ●開けるときにごみがこぼれる場合があります。新聞紙などの上で開けてください。

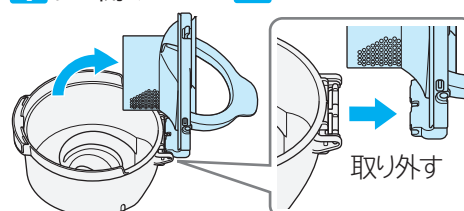
⚠注意

けがのおそれあり

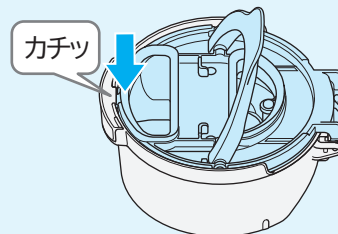
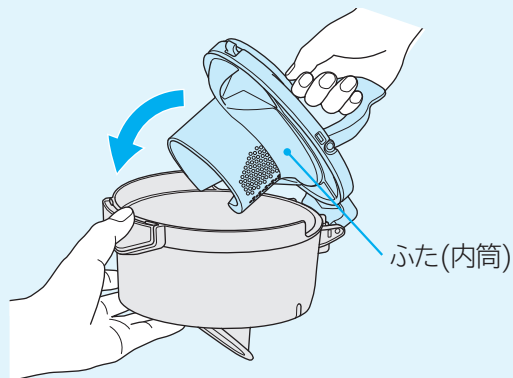
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。けがをしないよう注意して取り除いてください。

4 サイクロン室を水洗いする

お願い ●付着しているごみは軽く落としてから水洗いしてください。

●取り外してお手入れすることもできます。

1 90°開く　2 矢印方向に取り外す

●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

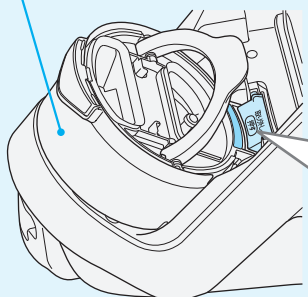
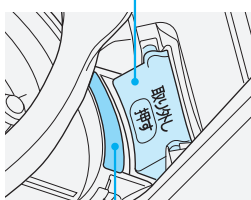
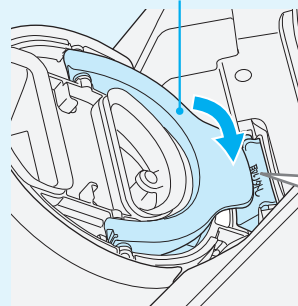
吸込力が弱くなったら(続き)

5 よく乾かしてから、ふた(内筒)を閉める

●「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

お願い ●ふた(内筒)はしっかりと閉めてください。しっかりと閉まっていない状態で本体を運転した場合、サイクロン室付近から「ピー」という異音がすることがあります。

6 サイクロン室を本体に取り付ける

1 サイクロン室の「青色部」を本体の取り外しボタン(青いボタン)に合わせて置く

2 収納ハンドルを「カチッ」と音がするまで「青いボタン」の下に押し込む

お願い

●洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。

●付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。

●付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。

●水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。

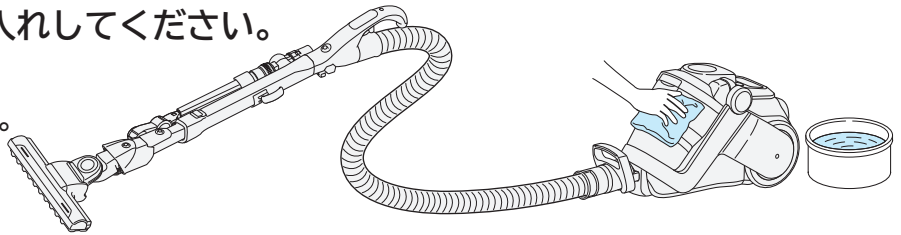
●ダストケース・サイクロン室および各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーター部にごみが侵入すると、本体内部のフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。〈P.30〉

●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。
取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。〈P.30、31〉

お手入れのしかた

本体・標準付属品・付属応用部品

●**汚れが気になるときはお手入れしてください。**

水を含ませたやわらかい布を
よく絞ってからふいてください。

お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用しないでください。
ひび割れや変色の原因となります。

パワーヘッド

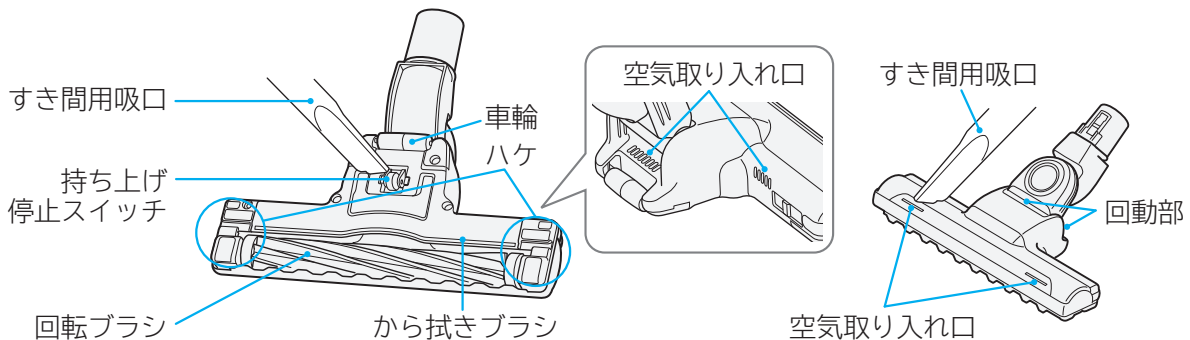
●**吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。**

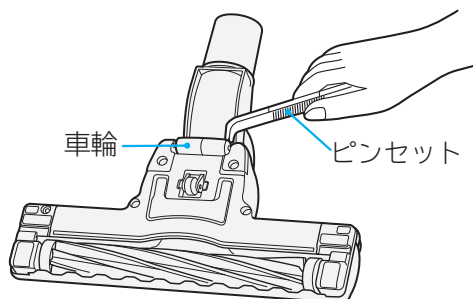
●**定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。**

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●パワーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

付着したごみを取り除く

付着したごみを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。

車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。

⚠注意

ゆか面に傷を付けるおそれあり

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。

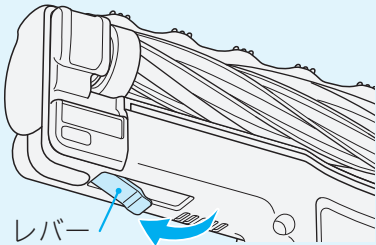
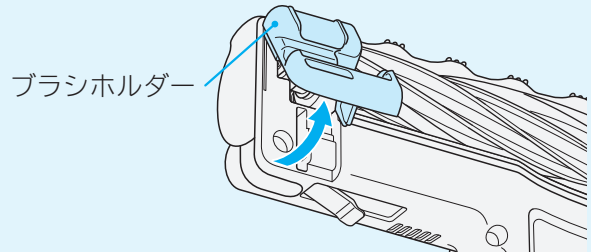
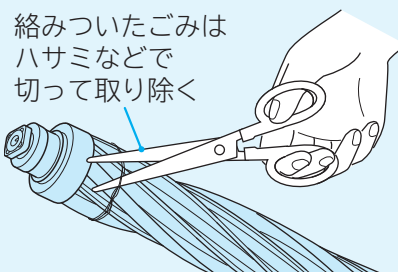
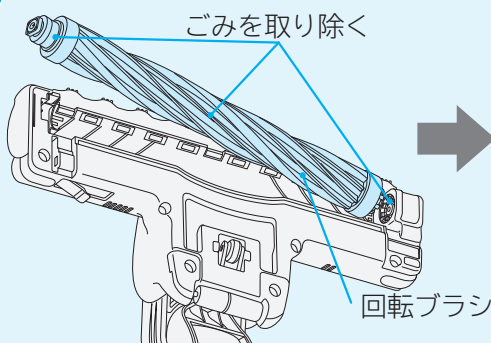
●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。〈P.30、31〉(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします)

お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

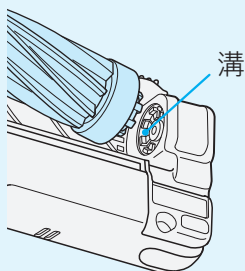
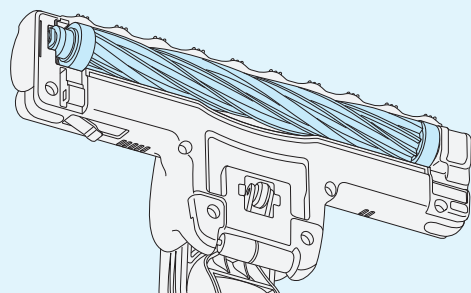
お手入れのしかた(続き)

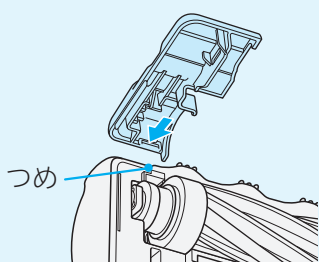
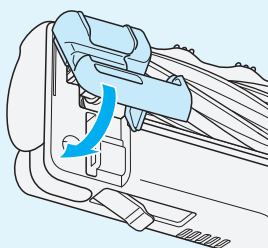
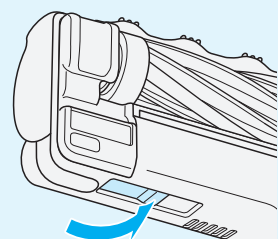
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

2 ブラシホルダーを取り外す

2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

お願い
- ●洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
  変色、変形などの原因となります。
- ●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

2 元どおり取り付ける

4 ブラシホルダーを取り付ける

1 つめを引っ掛ける

2 ブラシホルダーを取り付ける

3 レバーを閉める

故障かなと思ったら

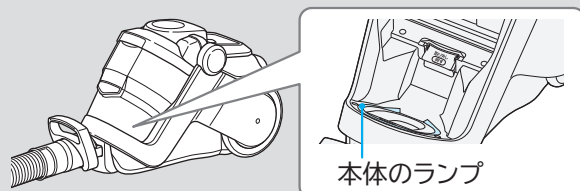
修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

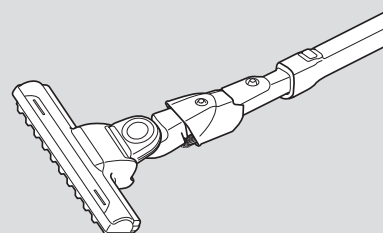
保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置と原因

本体が運転できない

本体のランプが赤点滅したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に「弱」運転になります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・延長管のごみ詰まり

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

回転ブラシに異物を挟み込むなどした状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。

- 異物の挟み込み
- ゆかやじゅうたんなどへの押しつけ

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

本体が運転できない

- ごみ捨て/フィルターのお手入れをする 〈P.17、18、22~24〉
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース・延長管に詰まったごみを取り除く

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

- 回転ブラシに挟み込んだ異物を取り除く 〈P.25、26〉

約5分後~60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	(1)立体フィルターとクリーンフィルターのごみを捨ててください。	P.16〜P.20
	(2)各フィルターにごみが付着していませんか。	(2)各フィルターのお手入れをしてください。	P.22〜P.24
	(3)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。	(3)ごみを取り除いてください。	−
	(4)パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(4)ごみを取り除いてください。	P.25 P.26
	(5)サイクロン室にごみが詰まっていませんか。	(5)ごみを取り除いてください。	P.23 P.24
	ワイド曲がるロング吸口を使用したお掃除の場合、吸込力調節リングで吸込力を調節できます。		P.13
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが赤点滅する場合があります。定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		−
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●ワイド曲がるロング吸口、クルッとブラシ、すき間用吸口をカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後、パワーヘッドは力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	−
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.6
	(2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
	(3)上ふたが開いていませんか。	(3)上ふたを閉めてください。	−
本体の運転が止まる	本体のランプが緑点滅していませんか。	自動停止中です。 異常ではありません。	P.10
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		−
排気から異臭が出る	(1)フィルターにごみが付着していませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.22〜P.24
	(2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.22

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	(1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.7
	(2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドなどがしっかり接続されていますか。	(2)しっかりと接続してください。	P.2 P.3
	(3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。	(3)ゆか面から浮かせると止まる構造になっています。	P.11
	(4)回転ブラシ、空気取り入れ口、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。	(4)ごみを取り除いてください。	P.25 P.26
	(5)延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントを使用していませんか。	(5)定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。	－
パワーモニターが点灯しない	パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.7
ダストケース・サイクロン室付近から「ピー」という異音が出る	(1)本体にダストケース・サイクロン室が確実に取り付けられていますか。	(1)確実に奥まで取り付けてください。	P.20 P.24
	(2)サイクロン室のふた(内筒)が確実に閉められていますか。	(2)確実に閉めてください。	P.24
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」動作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを直してから、もう一度巻き込んでください。		－
クルッとブラシのブラシが出ない	内部にごみが詰まっていませんか。	ごみを取り除いてください。 ブラシに付着したごみは「すき間用吸口」で吸い取ってください。	－
自動スパイラル除じん機構が作動しない	(1)本体に本体つぎてが確実に差し込まれていますか。	(1)「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。	P.2 P.3
	(2)上ふたが開いていませんか。	(2)上ふたを閉めてください。	－
	(3)自動スパイラル除じん機構「切」に設定していませんか。	(3)「切」スイッチを長押し(5秒以上)して、自動スパイラル除じん機構「入」の設定に切り替えてください。	P.9
上ふたが閉まらない	本体にダストケース・サイクロン室が確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	P.20 P.24
本体から異音がする	本体内部のフィルターが目詰まりした場合、本体から異音が発生することがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。		P.30
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.30

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」〈P.27～29〉**をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品（ホース、延長管、パワーヘッド）もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容
1 型式－CV-SR3300
2 症状－できるだけ詳しく

一般家庭用以外でご使用になるとき

●共同（寮など）でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（パワーヘッドなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってご使用になることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

●スイッチを押しても、運転しない
●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
●運転中、時々止まる
●運転中、異常な音がする
●本体が変形したり、異常に熱い
●ホースが破れている
●こげくさい“におい”がする
●その他の異常がある

ご使用中止

事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

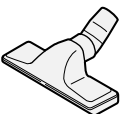
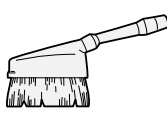
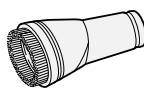
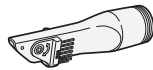
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
（受付時間）9:00～19:00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
（受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証について

●この商品は保証書付きです。
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。（保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください）
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2010年7月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口もご使用いただけます。〈P.15〉

ふとん用吸口(G-52)	はたき吸口(D-H3)	棚用自在吸口(D-TJ2)	丸洗いフローリングヘッド(D-F3)	クルッと切替えブラシ吸口
				サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口とご指定ください
希望小売価格 1,785円 (税抜 1,700円)	希望小売価格 3,990円 (税抜 3,800円)	希望小売価格 1,260円 (税抜 1,200円)	希望小売価格 5,250円 (税抜 5,000円)	希望小売価格 1,050円 (税抜 1,000円)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

ワイド曲がるロング吸口	ワイドブラシ	吸口ホルダー
サービスパーツ CV-SR3300-041 ワイド曲がるロング吸口(D-SH6) とご指定ください 希望小売価格 5,250円(税抜 5,000円)	サービスパーツ CV-SR3300-042 ワイドブラシ(SH6) とご指定ください 希望小売価格 1,575円(税抜 1,500円)	サービスパーツ CV-RP2100-019 スイクチホルダー(SH5) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)
お手入れブラシ	**サッとハンドル**	**クルッとブラシ**
サービスパーツ CV-SR3300-001 お手入れブラシとご指定ください 希望小売価格 420円(税抜 400円)	サービスパーツ CV-SJ8-006 サッとハンドルとご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)	サービスパーツ CV-SJ9-020 クルッとブラシとご指定ください 希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)
すき間用吸口	**別売り部品接続用アタッチメント**	**クリーンフィルター**
サービスパーツ CV-SJ10-030 すき間用吸口とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SM10-033 アタッチメント(SM)とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SR3300-022 Bフィルタークミ SRとご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)
回転ブラシ	**ブラシホルダー(ハケ)**	**車輪**
サービスパーツ CV-SR3300-040 ロータリブラシクミ(AP29) とご指定ください 希望小売価格 2,520円(税抜 2,400円)	サービスパーツ CV-SR3300-036 ジクウケカバーL,Rセット(AP29) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SR3300-035 ローラLセット(AP29) とご指定ください 希望小売価格 840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。
●車輪・ハケ・回転ブラシを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により部品交換いたします。部品交換には、部品代のほかに交換作業費がかかります。

仕様

電　　源	100V　50-60Hz共用	本 体 寸 法	長さ405mm×幅276mm×高さ284mm
消 費 電 力	1000W ～ 約200W	標準付属品	ホース……………………………1本 パワーヘッド……………………1個 延長管……………………………1本
吸込仕事率	450W ～ 約50W		
運　転　音	53dB ～ 約49dB	付属応用部品	サッとハンドル…………………1個 お手入れブラシ…………………1個 クルッとブラシ…………………1個 すき間用吸口……………………1個 曲がるロング吸口(D-SH6)………1個 ワイドブラシ(SH6)………………1個 吸口ホルダー……………………1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個 ティッシュペーパー………………1枚
集じん容積	0.4L(ごみすてラインまで)		
コードの長さ	5m		
質　　量	7.1kg(標準付属品を含む)		

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　　電話

ご購入年月日　　　　　年　　月　　日

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-M7887-1A　　F0(H)